

インマヌエル中目黒キリスト教会
聖日礼拝2007.8.12

メッセージ

ローマ書連講42

『愛は律法を全うする』

ローマ人への手紙13章 8~14節

竿代照夫牧師

聖書朗読

新約聖書

ローマ人への手紙13章8~14節

8 だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。他の人を愛する者は、律法を完全に守っているのです。

9 「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな。」という戒め、またほかにもどんな戒めがあっても、それらは、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」ということばの中に要約されているからです。

10 愛は隣人に対して害を与えません。それゆえ、愛は律法を全うします。

11 あなたがたは、今がどのような時か知っているのですから、このように行ないなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。

12 夜はふけて、昼が近づきました。
ですから、私たちは、やみのわざを
打ち捨てて、光の武具を着けようで
はありませんか。

13 遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、
ねたみの生活ではなく、昼間らしい、
正しい生き方をしようではありませんか。

14 主イエス・キリストを着なさい。
肉の欲のために心を用いてはいけません。

ローマ書連講42

メッセージ

『愛は律法を全うする』

ローマ人への手紙13章8～14節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「他の人を愛する者は、律法を完全に守っているのです。」

(ローマ13:8)

A. 愛は律法の真髄（8-10節）

1. 「愛」以外の借金はあるな

- ・ 愛以外の借金とは？
- ・ 愛の負債とは？

（1ヨハネ4:10、ローマ5:5）

2. 全律法は「愛」に要約される

- ・ 愛は隣を損なわない
- ・ すべての（対人関係の）律法の規定は、愛で全うされる（マルコ12:29-31、ガラテヤ5:14、ヤコブ2:8）

B. 光の武具をつけよう (11-14節)

1. 再臨の近さを弁えよう

- ・この文章での「救い」
=キリスト再臨の時に完成される救い
(1ペテロ1:5)

- ・それは、夜が終わって朝になる頃に譬えられる

2. 暗い業を捨てよう

6つのリストの共通性は「自己中心」

①遊興や酩酊:自己中心的な飲食の態度

②淫乱や好色：性の分野での自己中心

③争いやねたみ：

人間関係における自己中心

- ・これらは「外套を脱ぎ捨てるように」
捨て去るべき

3. 光の中を歩もう

- 「キリストを着る」
(1テサロニケ5:8、エペソ6:13-17)
- 「正しい生き方」をする
- 罪の核である自己中心を脱いで、
キリスト中心の生き方（愛）を着よう

(ガラテヤ3:27、コロサイ3:9~10)

おわりに

「アウグスチヌスの回心」が私たちの
ものになるように祈ろう